

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年) 7月16日
所 属 名:甲賀農産普及課
番 号:C25006
発 信 者 名:笠井 小林



甲賀市の学校給食における地産地消推進戦略会議を開催

甲賀市では今年度、「給食から始まり、つながる地産地消推進事業」を活用し、地場農産物を学校給食へ安定して届ける地域内流通の仕組みづくりに取り組んでいます。

この度、生産者、JA、市(教育委員会および栄養教諭、農業振興課)、県(みらいの農業振興課、農産普及課)が集まり、第1回地産地消推進戦略会議が開催されました。

当日は、静岡県袋井市で学校給食に地場農産物の使用拡大に向けた取組を進めてこれ、地産地消コーディネーターでもある、石塚浩司さんをファシリテーターとして迎え、甲賀市の学校給食の現状と課題、さらに対応についての意見交換が実施されました。

昨今の夏季の高温の影響で安定した生産、供給が難しくなっていることに対して、高温対策技術の指導に加え、移植機やピッカー等の機械を導入することにより、学校給食に一番多く使われている「たまねぎ」の安定生産を目指すことや、地場産を使用したいとの要望が強いが、供給量が不足している「ジャガイモ」について、研修会等の開催により、作付けを推進することなどが話し合われました。

また、甲賀市では、土や害虫の混入を防ぐため、冷凍の「ほうれんそう」や「ブロッコリー」を使用していますが、石塚氏からは、工夫すれば地場産を使用することは可能であるとのアドバイスをいただき、地場産の使用について、検討することとなりました。

今後も、学校給食における地場農産物の品目・使用量が増加し、県内トップモデルとなっていだけるよう、当課として支援していきたいと考えています。



第1回地産地消推進戦略会議の様子